平成30年9月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝当該案件採決時に議場不在
※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議案第117号	平成30年度富山市一般会計補正予算（第2号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	（反対討論要旨／日本共産党・赤星議員） 富山市センサーネットワーク構築事業は2億4千万円の巨額だが具体的な利活用方法は未定。来年度以降補助金はなく費用も不明。半額を占める国補助金の根拠「官民データ活用推進基本法」は国会で個人情報問題などが指摘された。 新庄小・山室小の給食調理民間委託は人件費削減以外に合理的な目的がない。給食は学校給食法に位置づく教育であり専門性、安定性が必要。民間の求人では低賃金、経験不問などが多い。市の税金が東京や大阪の大企業に吸収される。市の調理員は災害時避難所の炊出しに登録されているが民間は不明。 「都市基盤整備基金」へ6億円積み立てることに反対。基金残高は今年度末14．7億ある。この基金は使途が限られているが「まちなか居住推進」で大手マンション2社に5千万ずつ建設補助されたこともある。小中学校エアコンや耐震化等を優先すべき。																																								
	（賛成討論要旨／自由民主党・金谷議員） 富山市センサーネットワーク構築事業については、リアルタイムに変動する様々な情報を集約するネットワーク網を市内全域で構築し、これらを基にした新しい市民サービスの実現や、集積した情報をビッグデータとして多角的に分析し新しい政策立案に利活用する基盤を整備するためのものである。 安心安全な市民生活を実現するための基盤整備であることからも、重要な事業であると考える。 次に、学校給食調理等業務委託の件については、一つには校長先生が調理員の急な欠席などへの対応から手が離れ、学校運営に注力できるということ、学校栄養教諭の先生も本来の食育栄養指導の業務に注力できるということ、二つには将来に向けて児童生徒の人数が変動する際の適正化に対応しやすいということ、これらの点から現場からは大変満足度が高いため有効であると考える。 次に6億円を「都市基盤整備基金」として積み立てることについては、都市基盤整備は富山市の発展に重要な施策であるが、事業が長期にわたりかつ事業費に年度ごとの大きな変動があることから、今後とも都市基盤整備基金の残高を一定程度確保しておくことが必要である。																																								
	（反対討論要旨／社会民主党議員会・村石議員） 補正予算の内、債務負担行為　富山市立新庄小学校調理等業務委託費及び富山市立山室小学校調理等業務委託費、また、情報管理事務費　富山市センサーネットワーク構築事業については、問題があることから、社会民主党議員会として、反対する。 　小学校調理等業務の民間委託について危惧されることは、①に委託費が、安くなることで、経験豊富な調理員の確保が難しくなること、②に3年ごとに受託者が変わることになれば、調理業務従事者がすべて入れ替わる可能性があることである。 富山市センサーネットワーク構築事業では、「今年度は、協力を依頼する2校程度の児童数約1，200人において、ランドセルにセンサーを付けてもらい、児童の登下校時の位置データを収集する実証実験を行う」としている。得られたデータが、外部に提出される恐れがある。																																								
	（賛成討論要旨／日本維新の会・金井議員） 議案第117号の学校給食調理等業務委託については、全学校統一の献立を作成し、富山市学校給食会が一括して食材を調達し、調理は学校の給食室を使い、調理方法は栄養教諭等が指示をし、校長が検食するなど安全面、衛生面が低下するとは考えられない。加えて、受託後1年間は1月に2度面談して、要望に耳を傾け意見交換をしている。学校行事との関わりについては、協力する事を契約時に確認しており、児童と給食調理員との関わりについても、日々配膳室で挨拶や会話を交わすなど教育の一環としての学校給食に影響はないと思われる。調理員は定期異動で他の直営校に異動することから雇用にも問題はない。現在委託されている5社の競争力により、より良い質と安全性の確保が期待され、680万円の経費の削減が見込まれることから、この事業に賛成するものである。																																								
議案第118号	平成30年度富山市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	平成30年度富山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	平成30年度富山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	平成30年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案②】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議案第122号	平成30年度富山市水道事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号	平成30年度富山市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	平成30年度富山市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	平成30年度富山市病院事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	富山市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	（反対討論要旨／日本共産党・赤星議員） 安倍政権の「地方拠点強化税制」の一つであるが、東京23区から富山市に本社機能を移転してくる企業などに固定資産税を3年間軽減している現在の条例の実績は、「移転型」1社、「拡充型」2社で、富山市の税収が3社3年分で約2千5百万円減った。学校給食民間委託で削減された調理員の人件費はちょうど3年間で約2千6百万円。今度は本社機能「移転型」企業には3年間固定資産税をゼロにするという改定案だが、新たに設けられた国の補てん策でも、富山市には1年目が減収分の25%、2年目18．75%、3年目12．5%が地方交付税参入措置の対象になるということでしかなく全額補償ではない。法改正で新たに追加されたこの課税免除の規定は「しなければならない」ではなく「できる」規定であって、効果にも疑問があり、市民の負担になるような改定を行うべきではない。																																								
	（賛成討論要旨／自由民主党・金谷議員） 課税免除を行うことにより、固定資産税のみは税収が減ることになるが、一方で普通地方交付税として、補てん処置の対象となり減収分を補てんされることとなる。またそれに加えて、東京23区から本社機能が移転した場合には、社員が本市に移住することが考えられ、当然個人市民税が増収となる。さらには4年目以降には通常の固定資産税が課税されるので、この減税の効果は十分にあると考える。																																								
議案第127号	富山市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	富山市保育所条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	富山市児童館条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	富山市スポーツ施設条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	富山市コミュニティバス条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	富山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	委託契約締結の件（消防総合情報管理システム整備業務委託）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	工事請負契約締結の件（速星小学校校舎改築（その1）主体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	工事請負契約締結の件（水橋西部小学校耐震補強主体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	工事請負契約締結の件（図書館旧本館解体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	工事請負契約締結の件（愛宕保育所移転改築主体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	工事請負契約締結の件（第2期呉羽南部企業団地1号調整池築造工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第140号	工事請負契約締結の件（富山駅南北自由通路（在来線高架下）等整備工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第141号	工事請負契約締結の件（都市計画道路下新西町上赤江線大島橋上部工工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第142号	字の区域の新設の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第143号	字の区域の変更及び廃止の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第144号	訴えの提起の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案③】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上（議長） 和久	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江 かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星 ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議案第145号	平成29年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
議案第146号	平成29年度富山市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
議案第147号	平成29年度富山市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
議案第148号	財産取得の件（富山港線路面電車事業低床車両）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第149号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求める件	9/26	異議なしとの意見	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成29年度富山市一般会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第2号	平成29年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第3号	平成29年度富山市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第4号	平成29年度富山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第5号	平成29年度富山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第6号	平成29年度富山市まちなか診療所事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第7号	平成29年度富山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第8号	平成29年度富山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第9号	平成29年度富山市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第10号	平成29年度富山市白樺ハイツ事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第11号	平成29年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第12号	平成29年度富山市牛岳温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第13号	平成29年度富山市競輪事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第14号	平成29年度富山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第15号	平成29年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第16号	平成29年度富山市軌道整備事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第17号	平成29年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第18号	平成29年度富山市水道事業会計決算	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第19号	平成29年度富山市工業用水道事業会計決算	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第20号	平成29年度富山市公共下水道事業会計決算	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				
認定第21号	平成29年度富山市病院事業会計決算	9/26	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																				

【議員提出議案】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	髙田 真里	髙道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	髙見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議員提出議案第12号	地方財政の充実・強化を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第13号	所得税法および地方税法の寡婦（寡夫）規定の改正を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第14号	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第15号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第16号	学校施設への冷房等空調設備の設置促進を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第17号	地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第18号	水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書	9/26	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	（賛成討論要旨／日本共産党・小西議員） 水道事業は国民に安全・安心・安定的・合理的な対価の水の供給により憲法第25条の生存権を保障する事だ。 富山市は安全でおいしい水の供給にその役割を果たしている。 しかし全国の現状は、管路の老朽化、4割に満たない耐震化率、小規模で脆弱な経営基盤などが実態だ。 「改正案」反対の理由の第1は国や県のトップダウンで広域化の押しつけになるからだ。 富山県では広域化の高岡、氷見、小矢部、射水は一般家庭の1カ月20㎥使用で富山市は2，268円だが約1．5倍から2倍の料金だ。 第2にコンセッション（公設民営）方式を導入することだ。 利益優先の民間事業者では、安定性の後退、料金値上げ等になる。 命の根源である水事業をビジネスの対象にすべきではない。 国は人員確保等の財政支援や災害に対応する水道事業を応援する事が必要だ。																																								

【請願】

案件番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	髙田 真里	髙道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	髙見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
平成30年分請願第7号	正副議長選挙における候補者の所信表明を求める請願	9/26	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	（賛成討論要旨／日本維新の会・木下議員） 本会議のケーブルテレビやインターネット中継が行われている今、議場で語ることはすなわち、市民に向かって語りかけることと同じである。 本会議場という議員と当局の皆さん、そして市民の三者が共有する場において、議長候補者が想いを述べることは、目の前の議員そして市民と約束をするという非常に重たく、意義のあることだと思われる。新しい議長がどのような約束を議員や市民と交わしたのかということは、大きく注目され、その議長が退任するまで、掲げた目標は評価にさらされ、その緊張感があるからこそ、議長は真剣に議会運営に取り組むことにもなり、それが回りまわって市民の福祉にもつながるのだと考える。 正副議長候補者による所信表明を行うことは、様々なプラスを私たちの議会にもたらしてくれると確信している。																																								
	（反対討論要旨／自由民主党・有澤議員） 現在、富山市議会で行われている議長選挙については、全会派で構成する世話人会の中で事前の協議が行われており、一体化の合意が得られた場合、指名推選による選出を行い、合意が得られなければ投票による選挙を行っている。 なお、議長、副議長は当選後（就任後）所信表明、決意を述べており、議会の目指すべき方向性について市民の皆様には、理解をしていただいているものと考え、よって請願第7号に反対討論とする。																																								
	（賛成討論要旨／社会民主党議員会・村石議員） 　本請願文が、所信表明を行うことにより、正副議長として、就任後により大きな指導力を発揮することになること、正副議長選出の都度、市民が議会の何たるかを考え、議会に対する理解が深まるとしていることに社会民主党議員会は、賛成する。 　賛成の理由は、所信表明を導入している議会があること、地方自治の二元代表制の議会の役割について、市民にも理解を深めてもらうことが挙げられる。しかし、議長副議長の選出過程は、議員や住民から見えにくいことが多い、というイメージがあるのが現状である。 「議会の代表」である議長副議長を選ぶ望ましい姿は、事前に候補者が自らの考えを所信表明で示し、全ての議員がそれを確認したうえで選ぶことである。そして、その過程を住民とともに共有できる環境を整えるべきである。																																								
	（反対討論要旨／公明党・佐藤議員） 地方自治法第103条第1項は「普通地方公共団体の議会は、議員の中から議長及び副議長一人を選挙しなければならない。」と規定している。さらに第118条第1項前段においては「投票の記載事項及び投函」、「点字投票」、「代理投票」、「無効投票」並びに「当選人」の規定のみで、「立候補の届出等」の規定は準用されていない。 これらことから、正副議長選挙に係る所信表明会を実施する議会では、議会基本条例等において規定されているものと思われる。 一方、富山市議会では、議会改革検討調査会を設けて、市民に開かれた議会へ様々な取り組みを進めてきており、この請願内容も検討項目にあることから同検討調査会において、より丁寧な議論の必要性があると考える。 よって、現時点での本請願の採択には賛成できない。																																								
	（賛成討論要旨／日本共産党・赤星議員） 『世話人会』は非公開で、どう議長候補が決まっていったか議会外から市民が知る術はない。開かれた議場で議長候補がどういう議会にしたいのか所信表明演説をすることがだいじ。議員に所信表明するということということは広く市民に所信表明するということ。今の時代、市民に開かれた議会改革には必要不可欠。選んだ理由の説明責任にもつながる。 　旧富山市議会平成16年6月定例会最終日、正副議長選挙で議会が混乱したことがあったが、所信表明がないので議員は何を基準に投票し、水面下で何があったのか、会議録からは何もわからない。このような市民不在は今後絶対に許されない。 　多数の議長・副議長経験者らも政務活動費の不正が発覚し辞職した。そこには閉鎖的な議会という温床があった。その深い反省に立ち、正副議長選挙も「見える化」を進めるべき。																																								

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字以内にまとめたものを掲載しています。（討論の掲載順は実際の発言順としています。）
※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の9月26日開催の本会議分、または、「平成30年9月富山市議会定例会会議録」（平成30年11月下旬発行予定）
　にて、ご確認ください。